

【当日配布資料】

第 55 回保団連夏季セミナー

- ☐ 日程 2026 年 8 月 1 日(土)～8 月 2 日(日)
- ☐ 会場 東京・都市センターホテル

夏季セミナーご参加の皆様へ（連絡メモ）	・ P 1
当日のスケジュールと会場のご案内	・ P 3
都市センターホテルからダイヤモンドホテルへの徒歩ルート	・ P 5
参加者名簿（都道府県順）	・ P 6
シンポジウム関連資料	・ P12
※事前資料〔表紙黄色〕P58 以降もあわせてご参照ください	

※基調提案及び講座資料は別冊となっておりますのでご注意ください

＜特設サイトのご案内＞

第 55 回夏季セミナー特設サイトにて各種資料を掲載しております。

以下の URL 及び右の 2 次元コードからアクセス可能です。

URL : <https://hodanren.doc-net.or.jp/kakiseminar2026/>



当日のスケジュールと会場のご案内

1日目（8月1日）全体会

3F・コスモスホール

17:30～	………	受付
18:30	………	開会
18:30	～	司会：新井 良一 保団連副会長
18:40		挨拶：竹田 智雄 保団連会長
18:40	～	基調提案：天谷 静雄 保団連副会長
19:10		国民の命、健康、暮らしを守り 医療・社会保障の充実を
19:15	～	記念講演：廣瀨 泰久氏
20:50		株式会社ヒロハマ取締役会長 中小企業家同友会全国協議会会長 よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす 中小企業家同友会の学びと実践 一私と中同協が歩んだ道

2日目（8月2日）講座、シンポジウム

9:00～	………	受付
9:30～12:00	………	講座（すべて並行して行います）

講座1 財政民主主義で国民皆保険を守れるか 3F・コスモスホール
講師：掛貝祐太氏 氏（茨城大学人文社会学部准教授）
担当役員：武村副会長、二村理事

講座2 高市政権の目指す憲法改正と高市総理の憲法観・政治姿勢など 5F・オリオン
講師：高橋純子氏（朝日新聞編集委員）
担当役員：天谷副会長、矢野理事、早川理事

講座3 女性初首相の誕生で、日本のジェンダー平等は進んだのか？ 7F・701
講師：武田宏子氏（名古屋大学大学院教授）
担当役員：小澤副会長、玉川理事、細部理事、千葉理事

講座4 テーマ：2026年歯科診療報酬改定を考える

6F・601

講師：田辺 隆氏（保団連副会長）

担当役員：新井副会長、池理事、深井理事

12：00～13：00 （昼食休憩） ※昼食会場（お弁当）は各講座会場。

13：00～15：30 ……… シンポジウム

3F・コスモスホール

「人口減少に立ち向かい、地域医療を再建する」

司会より開会挨拶 橋本 政宏保団連副会長

<基調報告>（20分）

「人口減少と地域・社会・医療提供体制の課題」

金沢大学名誉教授 横山 壽一氏

<パネリスト報告>（各20分）

①「過疎地医療の環境を整える 地域医療を守るための『継承』と『縮退』」

医療法人慈孝会七山診療所所長 阿部 智介氏

②「地域で暮らし続けていく」ための医療の役割

—過疎地域における歯科医からの提言—

石巻市雄勝歯科診療所所長 河瀬 聡一郎氏

③「地域医療を支える病院の立場から」

津軽保険生活協同組合代表専務理事 泉谷 雅人氏

<フロア指定発言>（各10分）

①産科医療の課題 白石 知己・保団連理事（群馬）

②在宅医療の課題 嶋田 一郎・大阪協会地域医療部長（大阪）

<フロア討論>（約40分）

基調報告、パネリスト追加発言（各2分）

まとめ 橋本 政宏保団連副会長

閉会あいさつ 中島 幸裕保団連副会長

担当役員：橋本副会長、中島副会長、森元副会長

夏季セミナー現地参加の皆様へ（連絡メモ）

■宿泊

都市センターホテルに宿泊の方は、各自フロントにてチェックインをお済ませください。8月2日(日)はチェックアウトの上、各講座にご参加ください。

■感染防止対策

会場内では、アルコール消毒、飲食時の黙食など感染防止対策にご協力ください。講演中の会場内での食事などはお控えください。発熱症状や体調不良の場合は参加をお控えいただく場合があります。

■食事

【8月2日・朝食】 2日目の朝食は、ビュッフェ形式となります。各自でお済ませください。場所と時間はチェックインの際にお渡しする朝食券に記載されています。混み合いますので早めにご利用ください。

【8月2日・昼食】 2日目の昼食弁当をお申込の方は、各講座会場でお済ませください。受付の際にお渡しする昼食弁当券と引き換えとなりますので、ご用意ください。

※2日目の昼食会場は各講座会場になります。

■救急

具合が悪くなった場合は受付または保団連事務局にお申出ください。

○救急担当事務局：8月1日(土) 野島 8月2日(日) 藤本

○救急担当医師：千葉英子保団連理事（両日）

※なお、夜間の救急についてはホテルフロントまでご連絡ください。

■書籍販売

シンポジウムの基調講演をされる横山壽一先生、講座1の掛貝先祐太生の書籍を各会場で販売しています。

■その他

お問い合わせ、急用などは受付または保団連事務局にお申出ください。

○当日の連絡先：080-5937-2730（保団連携帯）

○7月28日(火)から8月2日(日)までの期間、「第37回全国保険医写真展」をJCIIクラブ25で開催します。当日配布資料にはがきの案内が入っています。

○宇佐美宏先生を偲ぶ記帳台を3階ロビーに設置しています。

夏季セミナーウェブ参加の皆様へ（連絡メモ）

■資料

資料は夏季セミナー特設サイト上からダウンロードをお願い申し上げます。表紙の URL および 2 次元コードをご参照ください。

■受付

ウェブ参加の受付はございません。後日、お申し込みの協会・医会を通じて確認させていただきます。Zoom でのお名前の表示は「協会名・お名前」にご設定をお願いします（例：東京協会・保険医太郎、大阪歯科協会・保険医花子）。

■ウェブ接続上の留意点

ウェブ会議システムは Zoom ミーティングをご利用いただきます。あらかじめ各人で動作確認を行っていただいた上、ご参加ください。接続用 URL は特設 HP 上でご案内しております。

討論は原則、現地参加者のみとさせていただきます。ご発言を求める場合は、ミュートの解除などは行わず、ホスト（保団連事務局）へのチャットで「発言希望」とご送信ください。なお、ご送信いただいた場合も、現地の討論状況次第で指名できないことがございますのであらかじめご容赦いただけますと幸いです。

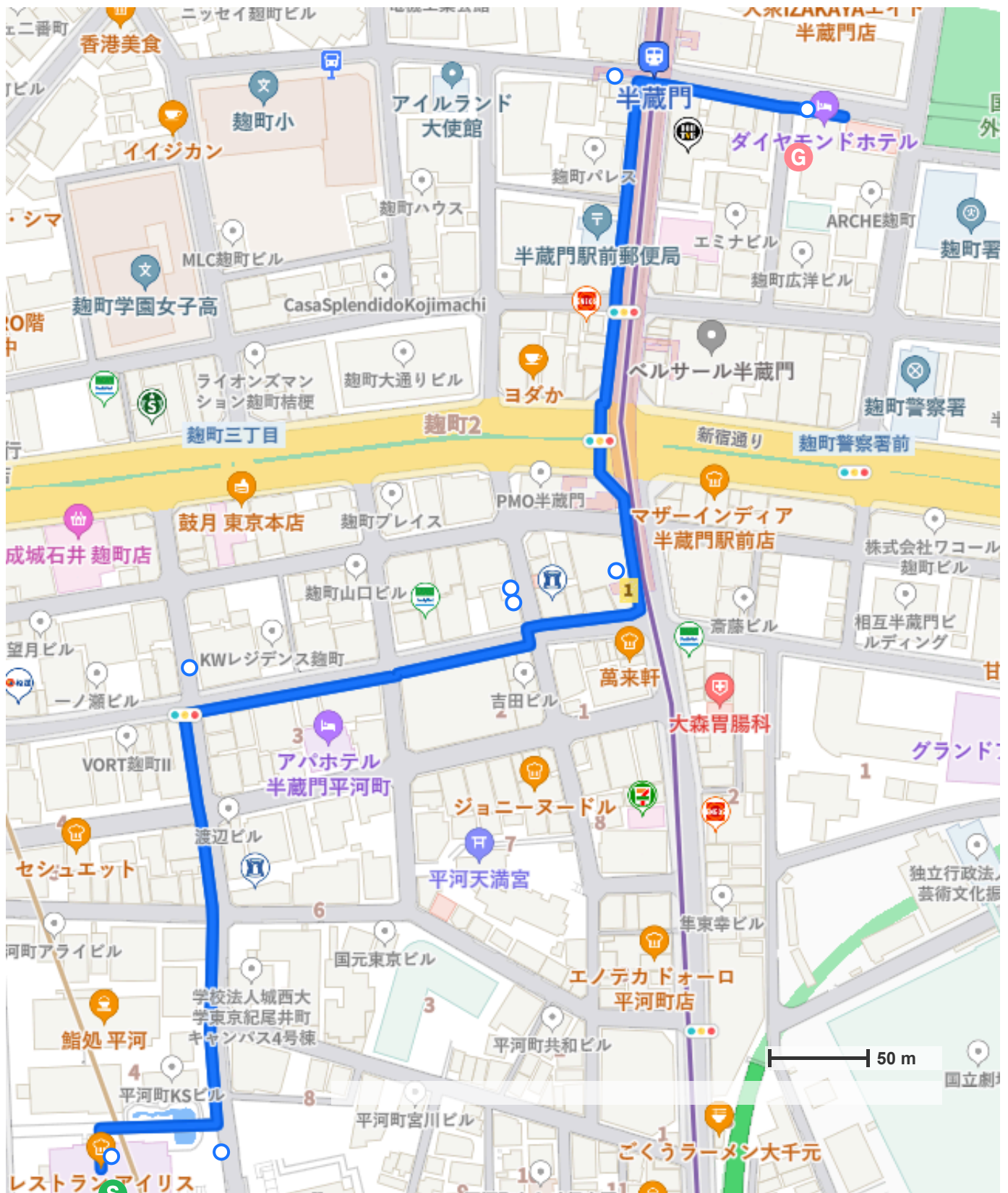
企画中の通信や機器のトラブルなどへの個別対応はいたしかねます。開始前のマイクやスピーカーのテストなどにも応じられません。ご不便をおかけしますが、ご理解のほどお願いいたします。

「都市センター」から「ダイヤモンドホテル」の徒歩ルート

「ダイヤモンドホテル」

〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-10-3

TEL：03-3263-2211 FAX：03-3263-2222



↑ 都市センターホテル

2026年第55回保団連夏季セミナー 出席者一覧

要→都市センターホテル 150部屋
要・D→ダイヤモンドホテル 20部屋

2026/7/30現在

通番	協会名	番号	参加者氏名	区分	参加日程	8/1の宿泊	8/2の講座	8/2の昼食	その他
1	北海道	1	照井 章文	歯科	現地で両日参加	別途	講座4	要	46歳
2	北海道	2	田中 章裕	事務局	現地で両日参加	要	講座1	要	
3	北海道	3	北村 三穂	医科	ウェブで参加	不要		不要	
4	北海道	4	田辺 隆	歯科	現地で両日参加	要	講座4	要	講座4講師
5	北海道	5	宮崎 和嘉	事務局	ウェブで参加	不要		不要	
6	青森	1	広野 晃久	事務局	現地で両日参加	要	講座4	要	
7	岩手	1	小山田 榮二	歯科	現地で両日参加	要	講座3	要	理事会出席
8	岩手	2	小野寺 けい子	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	
9	岩手	3	米持 武美	歯科	現地で両日参加	別途	講座4	要	
10	岩手	4	畠山 恒平	事務局	現地で両日参加	別途	講座1	要	理事会出席
11	岩手	5	立花 恵	事務局	現地で両日参加	別途	講座2	要	
12	宮城	1	今田 隆一	医科	ウェブで参加	不要	講座1	不要	
13	宮城	2	横堀 育子	歯科	現地で両日参加	要	講座3	要	
14	宮城	3	北村 龍男	医科	ウェブで参加	不要	講座1	不要	
15	宮城	4	上田 真実	事務局	ウェブで参加	不要	講座2	不要	
16	宮城	5	榎 かがり	事務局	ウェブで参加	不要	講座4	不要	
17	宮城	6	矢崎 とも子	医科	ウェブで参加	不要	講座1	不要	
18	宮城	7	齋 基之	歯科	ウェブで参加	不要	講座4	不要	8/2のみ参加
19	秋田	1	草薨 芳明	医科	ウェブで参加	不要	講座2	不要	
20	秋田	2	高橋 正喜	医科	ウェブで参加	不要		不要	
21	秋田	3	山本 久	医科	ウェブで参加	不要		不要	
22	秋田	4	酒樹 徳悦	歯科	現地で両日参加	別途	講座4	要	
23	秋田	5	稲葉 友良	歯科	現地で両日参加	別途	講座4	要	
24	山形	1	中島 幸裕	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	シンボ担当
25	山形	2	八島 彰	事務局	ウェブで参加	不要	講座4	不要	
26	山形	3	豊田 博巳	歯科	現地で両日参加	別途	講座4	要	
27	茨城	1	高木 伸子	歯科	現地で1日目のみ参加	別途			
28	茨城	2	須藤 孝秀	歯科	現地で両日参加	別途	講座1	要	
29	茨城	3	萩原 敏之	歯科	現地で両日参加	別途	講座1	要	
30	茨城	4	志村 俊晴	歯科	現地で両日参加	別途	講座2	要	
31	茨城	5	玉那覇 好生	医科	現地で両日参加	要	講座2	要	
32	茨城	6	野口 量平	歯科	現地で両日参加	別途	講座4	要	
33	茨城	7	柴沼 博之	歯科	現地で両日参加	別途	講座1	要	
34	茨城	8	城倉 誠	事務局	ウェブで参加	不要		不要	
35	栃木	1	天谷 静雄	医科	現地で両日参加	要	講座2	要	
36	栃木	2	榎 力	事務局	ウェブで参加	不要	講座2	不要	
37	群馬	1	白石 知己	医科	ウェブで参加	不要		不要	シンボ指定発言
38	群馬	2	川野 浩明	事務局	ウェブで参加	不要	講座4	不要	
39	埼玉	1	土田 昌巳	歯科	現地で両日参加	要	講座2	要	2日目は午前のみ参加
40	埼玉	2	赤松 秀樹	医科	現地で両日参加	不要	講座1	要	駐車券
41	埼玉	3	山田 太郎	歯科	現地で両日参加	要	講座1	要	駐車券
42	埼玉	4	青山 邦夫	医科	現地で両日参加	要	講座4	要	
43	埼玉	5	露木 静夫	医科	現地で2日目のみ参加	要	講座2	要	2日目は午前のみ参加
44	埼玉	6	渡部 義弘	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	
45	埼玉	7	田中 優	事務局	現地で両日参加	要	講座1	要	
46	埼玉	8	長澤 亜沙美	事務局	現地で両日参加	要	講座1	要	
47	埼玉	9	渡辺 浩二	事務局	現地で両日参加	要	講座2	要	
48	埼玉	10	千田 夢摘	事務局	現地で両日参加	要	講座3	要	
49	埼玉	11	望月 美沙	事務局	現地で両日参加	要	講座1	要	
50	千葉	1	武田 浩一	医科	現地で両日参加	要		要	
51	千葉	2	石毛 清雄	歯科	現地で2日目のみ参加	不要		要	
52	千葉	3	大野 清美		現地で2日目のみ参加	不要		要	
53	千葉	4	野崎 泰夫	歯科	現地で両日参加	要		要	
54	千葉	5	吉川 恵子	事務局	現地で2日目のみ参加	不要		要	
55	東京	1	岡本 正史	医科	現地で1日目のみ参加	不要			
56	東京	2	中村 洋一	医科	現地で両日参加	不要	講座2	要	シンボジスト
57	東京	3	水山 和之	医科	ウェブで参加	不要	講座2	不要	
58	東京	4	須田 昭夫	医科	現地で両日参加	不要	講座1	要	
59	東京	5	細部 千晴	医科	現地で両日参加	要	講座3	要	講座3担当
60	東京	6	内田 俊也	医科	現地で両日参加	不要		要	講座未定
61	東京	7	佐藤 一樹	医科	現地で両日参加	不要	講座2	要	
62	東京	8	品沢 聡	医科	現地で両日参加	不要	講座1	要	
63	東京	9	申 偉秀	医科	ウェブで参加	不要	講座1	不要	
64	東京	10	竹内 真弓	医科	ウェブで参加	不要	講座2	不要	保団連理事、2日目
65	東京	11	吉田 章	医科	現地で1日目のみ参加	不要			
66	東京	12	大崎 味江子	医科	現地で両日参加	不要	講座2	要	
67	東京	13	小形 歩	事務局	現地で両日参加	不要	講座3	要	

68	東京	14	大竹 祐嗣	事務局	現地で2日目のみ参加	不要	講座1	要	
69	東京	15	大石 有子	事務局	現地で1日目のみ参加	不要			
70	東京	16	堀越 千加	事務局	現地で2日目のみ参加	不要	講座1	要	
71	東京	17	長尾 真知子	事務局	現地で2日目のみ参加	不要	講座1	要	
72	東京	18	山本 逸子	事務局	現地で両日参加	不要	講座1	不要	
73	東京	19	江島 智彰	事務局	現地で1日目のみ参加	不要			
74	東京	20	岩崎 祐輔	事務局	現地で両日参加	不要	講座1	要	
75	東京	21	長塚 さとみ	事務局	現地で2日目のみ参加	不要	講座2	要	
76	東京	22	山本 麻子	事務局	現地で両日参加	不要	講座1	要	
77	東京	23	瀧澤 雄一郎	事務局	現地で1日目のみ参加	不要			
78	東京	24	中里 徳孝	事務局	現地で1日目のみ参加	不要			
79	東京	25	城田 宏輔	事務局	現地で2日目のみ参加	不要	講座1	不要	
80	東京	26	吉村 彰吾	事務局	現地で1日目のみ参加	不要			
81	東京	27	小林 望	事務局	現地で2日目のみ参加	不要	講座2	不要	
82	東京	28	近藤 祐斗	事務局	現地で両日参加	不要	講座1	要	
83	東京	29	西尾 梨花	事務局	現地で2日目のみ参加	不要	講座2	要	
84	東京	30	伊藤 諒	事務局	現地で2日目のみ参加	不要	講座1	不要	
85	東京	31	仁藤 瑞穂	事務局	現地で2日目のみ参加	不要	講座1		
86	東京	32	織原 花子	事務局	現地で両日参加	不要	講座3	要	
87	東京歯科	1	森元 主税	歯科	現地で両日参加	要	講座4	要	シンボ担当
88	東京歯科	2	矢野 正明	歯科	現地で両日参加	要	講座2	要	講座2担当
89	東京歯科	3	小林 顕	歯科	現地で2日目のみ参加	不要	講座1	要	
90	東京歯科	4	加藤 開	歯科	現地で2日目のみ参加	不要	講座4	要	
91	東京歯科	5	坪田 有史	歯科	現地で2日目のみ参加	不要	講座4	要	
92	東京歯科	6	早坂 美都	歯科		不要			
93	東京歯科	7	藤田 円	事務局	ウェブで参加	不要		不要	
94	東京歯科	8	清水 亮佑	事務局	現地で2日目のみ参加	不要	講座4	要	
95	東京歯科	9	石森 敦也	事務局	ウェブで参加	不要		不要	
96	神奈川	1	山本 晴章	医科	現地で2日目のみ参加	不要	講座2	要	駐車券,1日目WEB,理事会WEB
97	神奈川	2	二村 哲	歯科	現地で両日参加	要	講座1	要	講座1担当
98	神奈川	3	千葉 英子	医科	現地で両日参加	要	講座3	要	理事会現地参加、講座3担当
99	神奈川	4	原 崇	歯科	現地で両日参加	要	講座4	要	理事会現地参加
100	神奈川	5	鈴木 悦朗	医科	ウェブで参加	不要	講座1	不要	
101	神奈川	6	稲木 建郎	歯科	ウェブで参加	不要	講座4	不要	
102	神奈川	7	瀧名 哲郎	医科	現地で1日目のみ参加	不要		不要	
103	神奈川	8	田中 麻衣子	事務局	現地で両日参加	要	講座1	要	理事会現地参加
104	神奈川	9	廣瀬 智美	事務局	現地で両日参加	要	講座4	要	
105	神奈川	10	古正 翔子	事務局	現地で両日参加	要	講座3	要	
106	神奈川	11	石井 菜々	事務局	現地で1日目のみ参加	不要		不要	
107	神奈川	12	石澤 聖嘉	事務局	現地で両日参加	要	講座2	要	
108	富山	1	米森 誠	歯科	ウェブで参加	不要	講座4	不要	
109	富山	2	林 茂雄	事務局	ウェブで参加	不要	講座1	不要	7月7日追加
110	山梨	1	伊藤 龍吾	事務局	現地で両日参加	要	講座1	不要	
111	新潟	1	五十嵐 修	医科	ウェブで参加	不要	講座1	不要	
112	新潟	2	竹内 寛之	医科	ウェブで参加	不要	講座1	不要	
113	新潟	3	浦田 治	歯科	ウェブで参加	不要	講座2	不要	
114	長野	1	宮沢 裕夫	歯科	現地で両日参加	要	講座2	要	
115	長野	2	林 春二	歯科	現地で両日参加	要	講座1	要	
116	岐阜	1	永田 正和	医科	ウェブで参加	不要	講座1	不要	2日のみWeb参加
117	岐阜	2	竹田 智雄	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	会長
118	岐阜	3	遠藤 奈穂	歯科	現地で2日目のみ参加	不要	講座4	要	1日Web、2日現地
119	岐阜	4	河合 正巳	医科	現地で両日参加	要	講座2	要	
120	岐阜	5	篠田 公敬	歯科	現地で両日参加	要	講座4	要	喫煙
121	岐阜	6	萩谷 勅信	歯科	現地で両日参加	別途	講座1	要	
122	岐阜	7	濱 昌代	歯科	現地で2日目のみ参加	不要	講座3	要	
123	岐阜	8	山田 隆弘	事務局	ウェブで参加	不要	講座1	不要	
124	岐阜	9	福島 勝之	事務局	現地で両日参加	別途	講座1	要	
125	岐阜	10	川瀬 雅子	事務局	ウェブで参加	不要	講座1	不要	2日のみWeb参加
126	岐阜	11	野々部 美希	事務局	ウェブで参加	不要	講座2	不要	
127	静岡	1	山田 美香	歯科	現地で両日参加	要	講座4	要	保団連理事会参加
128	静岡	2	遠藤 薫	歯科	現地で両日参加	要	講座4	要	
129	静岡	3	宮倉 慎二	事務局	現地で両日参加	別途	講座2	要	
130	静岡	4	藤岡 未稀	事務局	現地で両日参加	要	講座2	要	
131	静岡	5	尾入 さとみ	事務局	ウェブで参加	不要		不要	
132	静岡	6	古川 智也	事務局	ウェブで参加	不要		不要	
133	静岡	7	安藤 剛	事務局	ウェブで参加	不要	講座4	不要	
134	愛知	1	田中 咲季	事務局	現地で両日参加	要・D	講座1	要	
135	愛知	2	石原 史歩里	事務局	現地で両日参加	要・D	講座1	要	
136	愛知	3	石田 望美	事務局	現地で両日参加	要・D	講座1	要	
137	愛知	4	伊藤 剛	事務局	現地で両日参加	要・D	講座2	要	
138	愛知	5	伊藤 泉	事務局	現地で両日参加	要・D	講座2	要	

139	愛知	6	田村 美樹	事務局	現地で両日参加	要・D	講座2	要	
140	愛知	7	西川 ミルトン	事務局	現地で両日参加	要・D	講座2	要	
141	愛知	8	岩本 直樹	事務局	現地で両日参加	要・D	講座3	要	
142	愛知	9	赤尾 真由	事務局	現地で両日参加	要・D	講座3	要	
143	愛知	10	氏原 聡	事務局	現地で両日参加	要・D	講座3	要	
144	愛知	11	後藤 幸一	事務局	現地で両日参加	要	講座3	要	
145	愛知	12	森田 美月	事務局	現地で両日参加	要・D	講座4	要	
146	愛知	13	井上 亮子	事務局	現地で両日参加	要・D	講座4	要	
147	愛知	14	橋本 政宏	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	シンポ担当
148	愛知	15	杉藤 庄平	歯科	現地で両日参加	要	講座1	要	
149	愛知	16	石川 達也	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	
150	愛知	17	大岩 雅則	歯科	現地で両日参加	不要	講座2	要	
151	愛知	18	杉浦 直樹	歯科	現地で両日参加	不要	講座4	要	
152	愛知	19	野口 保	歯科	現地で両日参加	要	講座4	要	
153	愛知	20	荒尾 和子	歯科	現地で両日参加	要	講座4	要	
154	愛知	21	池 潤	歯科	現地で両日参加	要	講座4	要	講座4担当
155	愛知	22	江原 雅博	歯科	現地で両日参加	要	講座4	要	
156	愛知	23	池山 淳	医科	ウェブで参加	不要	講座2	不要	
157	愛知	24	佐野 由衣	医科	ウェブで参加	不要	講座3	不要	若手補助対象者
158	愛知	25	荻野 高敏	医科	ウェブで参加	不要		不要	2日目シンポジウムのみ視聴
159	愛知	26	北村 恒康	歯科	ウェブで参加	不要	講座4	不要	
160	愛知	27	市原 透	医科	現地で両日参加	要	講座2	要	
161	愛知	28	早川 純午	医科	現地で両日参加	要	講座2	要	講座2担当
162	愛知	29	橋詰 義幸	歯科	現地で両日参加	要	講座2	要	
163	三重	1	鶴飼 伸	歯科	現地で両日参加	要	講座4	要	禁煙
164	三重	2	吉田 美昌	医科	現地で両日参加	要	講座3	要	禁煙
165	三重	3	梅村 忠司	歯科	現地で両日参加	要	講座2	要	禁煙
166	三重	4	野崎 舞子	事務局	現地で両日参加	要・D	講座2	要	禁煙
167	三重	5	高井 智子	事務局	現地で両日参加	要	講座2	要	禁煙
168	京都	1	増田 道彦	医科	現地で両日参加	要	講座2	要	
169	京都	2	中村 暁	事務局	現地で1日目のみ参加	要		不要	理事会、喫煙
170	京都	3	儀部 博子	医科	ウェブで参加	不要	講座3	不要	2日目のみ
171	大阪	1	鶴田 一郎	医科	現地で両日参加	要	講座2	要	
172	大阪	2	渡辺 昭彦	医科	現地で両日参加	要	講座2	不要	
173	大阪	3	宇都宮 健弘	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	
174	大阪	4	落合 英一	医科	現地で両日参加	要	講座2	要	
175	大阪	5	高本 英司	医科	ウェブで参加	不要	講座2	不要	
176	大阪	6	西田 裕一	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	
177	大阪	7	住江 憲勇	医科	現地で両日参加	要	講座2	要	
178	大阪	8	井上 美佐	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	
179	大阪	9	小林 知加子	医科	ウェブで参加	不要	講座2	不要	2日目のみ参加
180	大阪	10	渡辺 征二	事務局	現地で両日参加	要	講座3	要	
181	大阪	11	三村 翔	事務局	現地で両日参加	要	講座1	要	
182	大阪	12	小林 幸世	事務局	現地で両日参加	要	講座1	要	
183	大阪	13	高田 多一	事務局	ウェブで参加	不要	講座2	不要	
184	大阪	14	藤本 脩央	事務局	現地で両日参加	要	講座1	要	
185	大阪	15	上中 典子	事務局	ウェブで参加	不要	講座3	不要	
186	大阪	16	岩本 正輝	事務局	ウェブで参加	不要	講座1	不要	
187	大阪	17	嶋田 一郎	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	シンポ指定発言、交通費協会に還元
188	大阪歯科	1	小澤力	歯科	現地で両日参加	要	講座3	要	喫煙、講座3担当
189	大阪歯科	2	戸井逸美	歯科	現地で両日参加	要	講座1	要	
190	大阪歯科	3	富本昌之	歯科	ウェブで参加	不要	講座4	不要	
191	大阪歯科	4	平尾清司	歯科	現地で両日参加	要	講座4	要	
192	大阪歯科	5	矢部あづさ	歯科	現地で両日参加	要	講座4	要	
193	大阪歯科	6	斎賀史郎	歯科	現地で両日参加	要	講座3	要	
194	大阪歯科	7	谷聡	歯科	現地で両日参加	要	講座2	要	
195	大阪歯科	8	玉川尚美	歯科	現地で両日参加	要	講座3	要	講座3担当
196	大阪歯科	9	段野和茂	歯科	現地で両日参加	要	講座2	要	
197	大阪歯科	10	松本博	歯科	現地で両日参加	要	講座2	要	
198	大阪歯科	11	李容順	歯科	ウェブで参加	不要	講座2	不要	
199	大阪歯科	12	和田武	事務局	ウェブで参加	不要	講座2	不要	
200	大阪歯科	13	松原彩葉	事務局	現地で両日参加	要・D	講座4	要	
201	大阪歯科	14	松岡巧征	事務局	現地で両日参加	要・D	講座4	要	
202	大阪歯科	15	大芝佑希	事務局	現地で両日参加	要・D	講座4	要	
203	大阪歯科	16	永松玲	事務局	現地で両日参加	要	講座4	要	
204	大阪歯科	17	片方真佐子	事務局	現地で両日参加	要	講座3	要	
205	大阪歯科	18	上南晴彦	事務局	現地で両日参加	要	講座1	要	
206	大阪歯科	19	木下暁	事務局	現地で両日参加	要・D	講座1	要	
207	大阪歯科	20	安江日向子	事務局	現地で両日参加	要・D	講座1	要	
208	大阪歯科	21	西野賢治	事務局	現地で両日参加	要・D	講座2	要	
209	大阪歯科	22	山本正剛	事務局	ウェブで参加	不要		不要	

210	大阪歯科	23	大森文音	事務局	ウェブで参加	不要		不要	
211	大阪歯科	24	宮武夢叶	事務局	ウェブで参加	不要		不要	
212	大阪歯科	25	佐藤浩史	事務局	ウェブで参加	不要		不要	
213	大阪歯科	26	町原結	事務局	ウェブで参加	不要		不要	
214	大阪歯科	27	木下結季	事務局	ウェブで参加	不要		不要	
215	大阪歯科	28	高丸晴菜	事務局	現地で両日参加	要・D	講座3	要	
216	大阪歯科	29	玉川明弘	歯科	現地で両日参加	要	講座4	要	
217	大阪歯科	30	森本新一	歯科	ウェブで参加	不要	講座4	不要	
218	兵庫	1	西山 裕康	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	喫煙
219	兵庫	2	森岡 芳雄	医科	現地で両日参加	要		要	理事会
220	兵庫	3	武村 義人	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	講座1 担当
221	兵庫	4	川村 雅之	歯科	現地で両日参加	要		要	理事会
222	兵庫	5	口分田 真	医科	ウェブで参加	不要	講座2	不要	
223	兵庫	6	田淵 光	医科	現地で両日参加	別途	講座2	要	
224	兵庫	7	武富 雅則	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	
225	兵庫	8	松岡 泰夫	医科	現地で2日目のみ参加	不要	講座2	要	
226	兵庫	9	藤森 隆史	歯科	現地で両日参加	要	講座1	要	
227	兵庫	10	永本 浩	医科	現地で両日参加	要		要	
228	兵庫	11	白岩 一心	歯科	現地で両日参加	要	講座2	要	
229	兵庫	12	坂口 智計	歯科	現地で両日参加	別途	講座2	要	
230	兵庫	13	辻 一城	医科	現地で両日参加	要	講座2	要	
231	兵庫	14	島津 俊二	歯科	現地で両日参加	別途	講座1	要	
232	兵庫	15	水野 良司	歯科	ウェブで参加	不要		不要	
233	兵庫	16	工藤 大八郎	歯科	現地で両日参加	要	講座4	要	
234	兵庫	17	藤田 誠治	事務局	現地で両日参加	要		要	
235	兵庫	18	小川 昭	事務局	現地で両日参加	要		要	理事会
236	兵庫	19	平田 雄大	事務局	現地で両日参加	要		要	
237	兵庫	20	有本 花野子	事務局	現地で両日参加	要		要	
238	兵庫	21	呉 羽晰	事務局	ウェブで参加	不要		不要	
239	兵庫	22	石本 紳二	事務局	ウェブで参加	不要		不要	
240	兵庫	23	本田 由美子	事務局	ウェブで参加	不要		不要	
241	奈良	1	青山 哲也	歯科	ウェブで参加	不要	講座2	不要	
242	奈良	2	宮際 幹	医科	ウェブで参加	不要	講座2	不要	講座変更 1→2
243	奈良	3	吉良 要	歯科	現地で両日参加	要	講座1	要	
244	奈良	4	胡内 秀規	歯科	現地で両日参加	別途	講座4	要	
245	奈良	5	宮本 健志	歯科	現地で2日目のみ参加	要	講座4	要	46歳
246	奈良	6	竹島 廣憲	事務局	ウェブで参加	不要	講座1	不要	
247	鳥取	1	下村 和也	歯科	ウェブで参加	不要	講座4	不要	2日目 講座4のみ受講
248	広島	1	黒木 秀尚	医科	現地で両日参加	要	講座2	要	
249	広島	2	川上 寛	事務局	現地で両日参加	要	講座4	要	
250	広島	3	須藤 明子	事務局	ウェブで参加	不要	講座2	不要	
251	山口	1	大矢 弘子	歯科	現地で両日参加	別途	講座1	要	
252	山口	2	末益 和幸	歯科	現地で両日参加	要	講座2	要	
253	山口	3	深井 修一	歯科	現地で両日参加	要	講座4	要	講座4 担当
254	山口	4	田中 恵子	事務局	ウェブで参加	不要		不要	
255	徳島	1	納田 一徳	医科	現地で両日参加	要	講座2	要	
256	徳島	2	多田 颯希	事務局	現地で両日参加	要	講座1	要	
257	香川	1	田中 眞治	医科	ウェブで参加	不要		不要	2日目終日WEB参加
258	香川	2	森 仁志	歯科	ウェブで参加	不要		不要	2日目AM/WEB参加
259	香川	3	別所 義孝	事務局	ウェブで参加	不要		不要	両日WEB参加
260	愛媛	1	吉田 克己	医科	現地で両日参加	要	講座2	要	
261	愛媛	2	高岡 克典	歯科	現地で両日参加	要	講座4	要	
262	高知	1	吉松 高志	医科	現地で両日参加	別途	講座1	要	
263	高知	2	大西 正治	歯科	現地で2日目のみ参加	別途	講座3	要	
264	高知	3	戸田 満奈美	事務局	ウェブで参加	不要	講座4	不要	
265	福岡	1	林 裕章	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	
266	福岡	2	相良 昌秀	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	
267	福岡	3	田尻 博敬	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	46歳
268	福岡	4	内野 貴則	事務局	現地で両日参加	別途	講座1	要	
269	福岡	5	門司 美涼	事務局	現地で両日参加	別途	講座1	要	
270	福岡歯科	1	大崎 公司	歯科	現地で両日参加	別途	講座4	要	
271	福岡歯科	2	杉山 正隆	歯科	ウェブで参加	不要	講座3	不要	WEB参加
272	福岡歯科	3	有村 康	歯科	現地で両日参加	別途	講座2	要	
273	福岡歯科	4	城間 盛太郎	事務局	現地で両日参加	別途	講座1	要	
274	佐賀	1	新井 良一	歯科	現地で両日参加	要	講座4	不要	8/2午前中まで、講座4 担当
275	佐賀	2	千葉 研介	歯科	現地で両日参加	別途	講座4	要	
276	佐賀	3	山口 宏和	医科	現地で両日参加	別途	講座1	不要	8/2午前中まで
277	佐賀	4	中山 利浩	医科	ウェブで参加	不要	講座1	不要	
278	佐賀	5	今村 洋一	医科	ウェブで参加	不要		不要	8/1・8/2シンポジウム
279	佐賀	6	進 武彦	歯科	ウェブで参加	不要		不要	8/1のみ
280	佐賀	7	中島 雅典	歯科	ウェブで参加	不要	講座4	不要	

281	佐賀	8	藤瀬 恭平	歯科	ウェブで参加	不要	講座4	不要	
282	佐賀	9	藤戸 好典	医科	ウェブで参加	不要	講座1	不要	
283	佐賀	10	武藤 浩平	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	37歳
284	佐賀	11	松永 由美子	事務局	現地で両日参加	別途	講座1	要	
285	佐賀	12	田中 裕幸	医科	ウェブで参加	不要		不要	8/2シンポジウムのみ
286	佐賀	13	古賀 俊六	医科	ウェブで参加	不要	講座1	不要	
287	佐賀	14	野口 さと子	事務局	ウェブで参加	不要	講座1	不要	
288	長崎	1	江頭 毅	歯科	ウェブで参加				egashira.nhk@gmail.com
289	長崎	2	鶴留 和彦	事務局	ウェブで参加				turudome@ndda.me
290	熊本	1	秋月 美和	医科	ウェブで参加	不要	講座2	不要	
291	熊本	2	添田 誠也	歯科	現地で両日参加	要	講座4	要	喫煙
292	熊本	3	緒方 秀則	歯科	現地で両日参加	別途	講座2	要	49歳
293	熊本	4	平川 尚子	歯科	現地で両日参加	要	講座3	要	
294	熊本	5	関 雅文	事務局	現地で両日参加	別途	講座1	要	
295	熊本	6	山口 輝	事務局	現地で両日参加	別途	講座1	要	
296	大分	1	垣迫 真一	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	
297	大分	2	原嶋 文治	医科	現地で両日参加	要	講座2	要	
298	大分	3	賀来 進	歯科	ウェブで参加	不要	講座4	不要	
299	大分	4	植木 薫	事務局	現地で両日参加	別途	講座3	要	
300	宮崎	1	小池 弘幸	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	
301	宮崎	2	日高 明義	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	
302	鹿児島	1	坪水 良平	歯科	現地で両日参加	別途	講座2	要	
303	鹿児島	2	森主 真弓	歯科	現地で両日参加	別途	講座3	要	
304	鹿児島	3	柳田 敏孝	医科	ウェブで参加	不要		不要	
305	鹿児島	4	原口 兼明	医科	ウェブで参加	不要	講座1	不要	
306	鹿児島	5	高岡 茂	医科	現地で両日参加	要	講座1	要	
307	鹿児島	6	水野 雄一朗	事務局	現地で両日参加	要	講座4	要	
308	沖縄	1	樋口 豊	歯科	現地で両日参加	別途	講座4	要	
309	沖縄	2	天久 佐和子	歯科	現地で両日参加	要	講座1	要	
310	記念講演		廣濱 泰久			不要			
311	講座1	講師	掛貝 祐太			不要	講座1		
312	講座2	講師	高橋 純子			不要	講座2		
313	講座3	講師	武田 宏子			要	講座3	要	
314	シンポ		横山 壽一			要		要	シンポパネリスト
315	シンポ		阿部 智介			要		要	シンポパネリスト
316	シンポ		河瀬 聡一郎			要		要	シンポパネリスト
317	シンポ		泉谷 雅人			要		要	シンポパネリスト
318	設営		尾関 洋一			要		要	部屋で煙草吸わない
319	設営		百野 健介			不要		要	尾関企画、2日目は11時頃着
320	救急用		救急用			要			
321	保団連	1	名嘉 圭太	事務局	現地で両日参加	要	講座1		
322	保団連	2	本並 省吾	事務局	現地で両日参加	要			
323	保団連	3	岩根 正和	事務局	現地で両日参加	要	講座4		喫煙
324	保団連	4	小川 恭子	事務局	現地で両日参加	要			喫煙
325	保団連	5	上所 聡子	事務局	現地で両日参加	不要			シンポ担当
326	保団連	6	工藤 光輝	事務局	現地で両日参加	要	講座1		講座1 担当
327	保団連	7	小林 登喜生	事務局	現地で両日参加	要	講座2		
328	保団連	8	橋本 光陽	事務局	現地で両日参加	要			
329	保団連	9	前谷 かおる	事務局	現地で両日参加	不要			
330	保団連	10	曽根 貴子	事務局	現地で両日参加	要			シンポ担当
331	保団連	11	藤本 あかね	事務局	現地で2日目のみ参加	不要			
332	保団連	12	岩下 洋	事務局	現地で両日参加	要			喫煙、シンポ担当
333	保団連	13	長田 逸生	事務局	現地で両日参加	不要			
334	保団連	14	里村 兆美	事務局	現地で両日参加	要	講座3		講座3 担当
335	保団連	15	都築 牧	事務局	現地で両日参加	不要	講座4		講座4 担当
336	保団連	16	丸山 七菜子	事務局	現地で2日目のみ参加	不要	講座3		1日目ウェブ、2日目午前現地
337	保団連	17	宮崎 愛	事務局	現地で両日参加	不要	講座4		講座4 担当
338	保団連	18	山田 祐也	事務局	現地で両日参加	不要			
339	保団連	19	岩佐 美玖	事務局	現地で両日参加	不要			
340	保団連	20	上澤 雄三	事務局	現地で両日参加	要	講座2		講座2 担当
341	保団連	21	大藤 陸	事務局	現地で両日参加	不要	講座4		講座4 担当
342	保団連	22	黒澤 真	事務局	現地で両日参加	要			
343	保団連	23	治田 直也	事務局	現地で両日参加	要			
344	保団連	24	白石 桃佳	事務局	現地で両日参加	要	講座1		講座1 担当
345	保団連	25	鈴木 榛夏	事務局	現地で両日参加	要			
346	保団連	26	高橋 直子	事務局	現地で1日目のみ参加	不要			1日目も休みの可能性あり
347	保団連	27	永松 拓	事務局	現地で両日参加	不要			
348	保団連	28	中村 恵美	事務局	現地で両日参加	要	講座2		講座2 担当
349	保団連	29	野島 聡子	事務局	現地で両日参加	不要	講座3		講座3 担当
350	保団連	30	眞下 拡	事務局	現地で両日参加	不要			
351	保団連	31	松本 明子	事務局	現地で両日参加	要	講座2		講座2 担当

352	保団連	32	山口 浩太	事務局	現地で両日参加	要	講座1		講座1担当
353	保団連	33	渡辺 亜弥子	事務局	現地で両日参加	不要	講座3		講座3担当
354	保団連	休	松山、伊藤、石井、高畑						
								209	

現地で両日参加	218	講座1	98
現地で1日目の	12	講座2	75
現地で2日目の	25	講座3	33
ウェブで参加	86	講座4	65
講師等	10		
現地で参加	265		
合計	351		

医科	91
歯科	96
事務局	152

過疎地域における医療の環境を整える 地域医療を守るための「継承」と「縮退」

医療法人慈孝会 七山診療所 阿部智介

医療の継続を、偶然に預けてよいのか

面積：約63km² (山手線の内側と同じ)

人口：1,638人

高齢化率：48.8%

課題：制度のエアポケット



制度ではなく、偶然だった。

過疎化がもたらす 負の連鎖

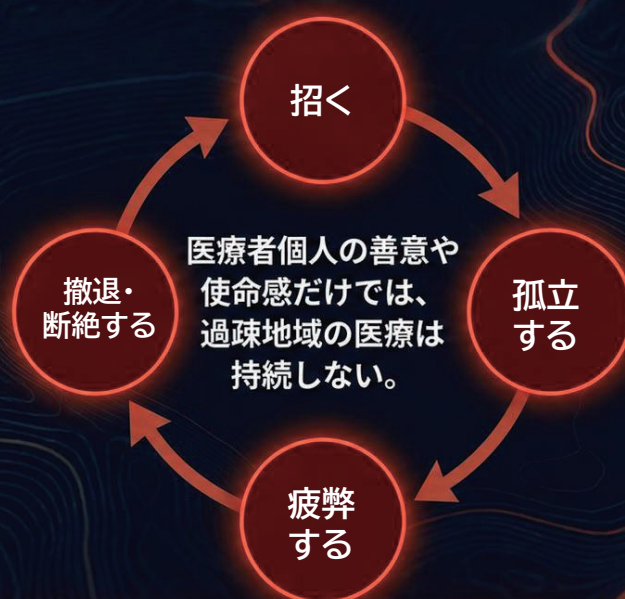
この連鎖を止めることは難しい。

だからこそ、縮みゆく地域の中で、暮らしをどう支え続けるかを考える。

断ち切るのではなく、受け止め、組み替えていく。

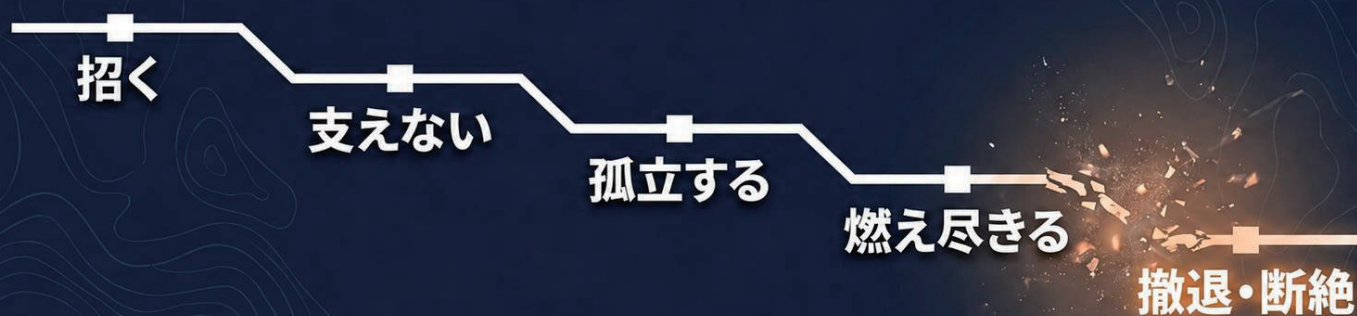


医療者の善意を投入しても、同じ断絶が繰り返される。



個人を替えても、構造は残る。

地域医療を守ると言いながら、
医療者を孤立させていないか。

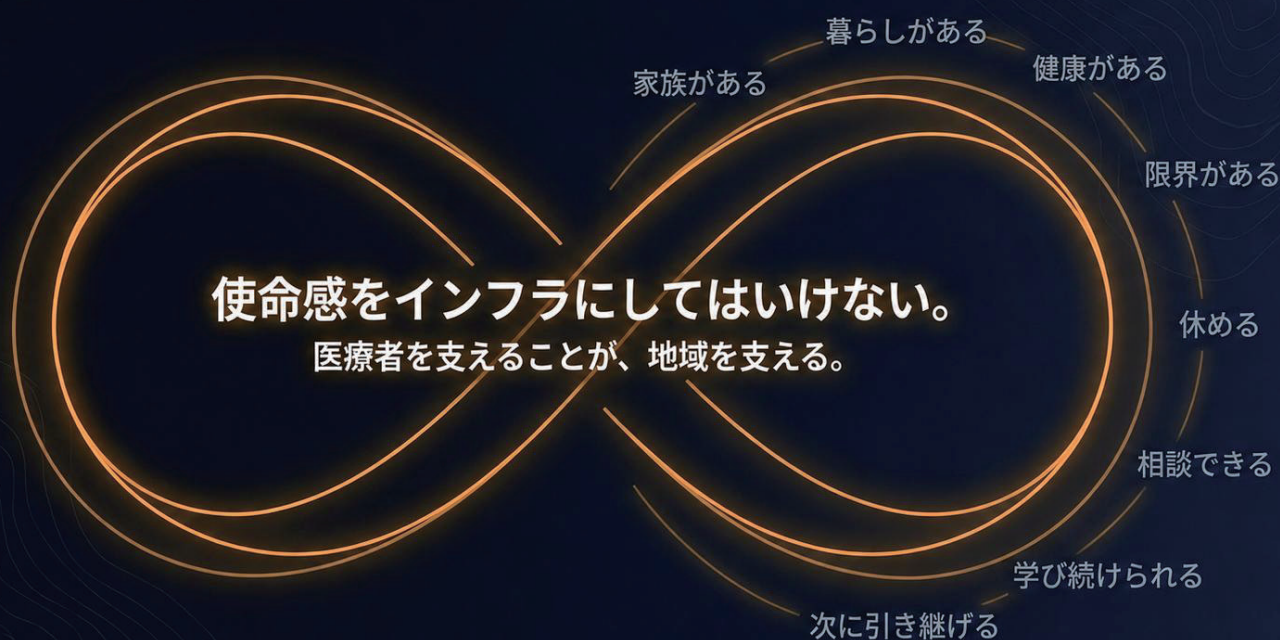


市場原理だけでは支えきれない地域がある。



地域医療とは、病気だけでなく暮らしを支える営みである。

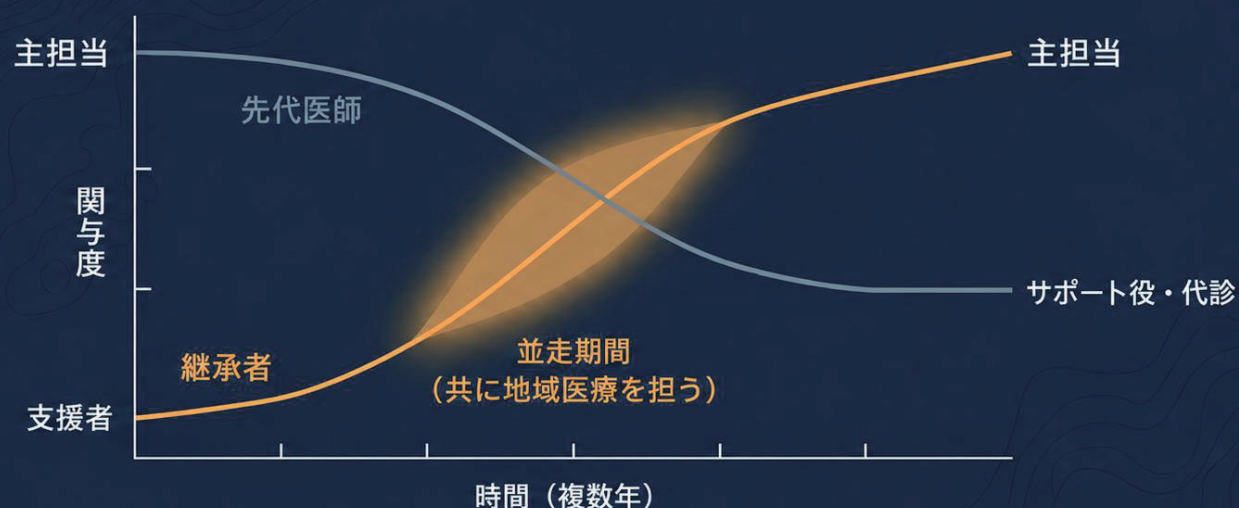
医療者も地域で生きている



視点の転換：「事業承継」から「継承」へ

事業承継	継承
経営権・資産の移転	信頼関係・地域の文脈の引継ぎ
短期的イベント	長期的プロセス
事業体の存続	地域医療の持続

過疎地域の診療所は、単なる事業体ではない。
住民の生活と結びついた基盤的インフラである。



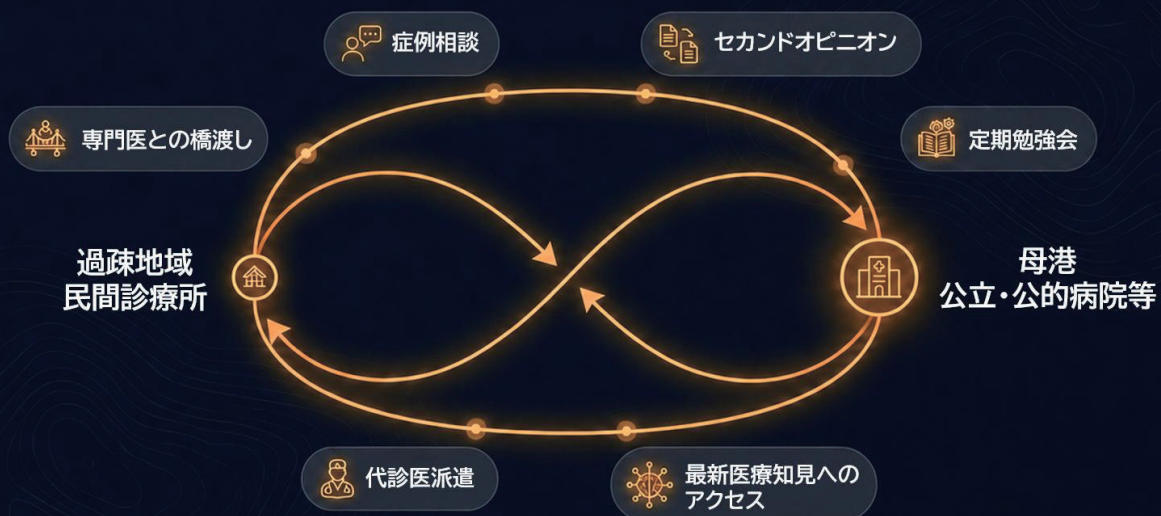
突然の引退（ゼロ）ではなく、**役割の転換**。医師の喪失感を防ぎ、
人生そのものを守る「**前近代的な親子承継のシステム化**」。

地域医療連携推進法人を、実装手段の一つに



人財・機能・学びを循環させ、
地域全体の仕組みで支える。

継承後も孤立させない母港



「一度入ったら戻れない場所」から、
「成長し続けられる場所」へ。

縮退は、撤退ではない



『選択と集中』による切り捨てではなく、地域との関わりを維持し続けるための再設計である。

過疎地域の医療を個人責任にしない

①民間診療所の
公的役割を
評価する

②公立・公的病院等を
母港にする

③人口減少を前提に
住民との対話で
再設計する
地域のACP

医師を配置するだけでは、地域医療は続かない。

結語

地域医療を守るとは、単に医師を配置することではない。
人が育ち、関係が受け継がれ、学びが循環する仕組みを
地域に根づかせることである。

地域を守るために、医療者を守る。
医療者を守るために、仕組みをつくる。



人口減少に立ち向かう医療生協の挑戦

～行政・地域との「協同」が生む持続可能な社会～

津軽保健生活協同組合
代表理事専務 泉谷 雅人

本日の内容

- ① 地域医療構想が
もたらしたもの
- ② 人口減少に立向
かう実践報告
- ③ 今後の課題

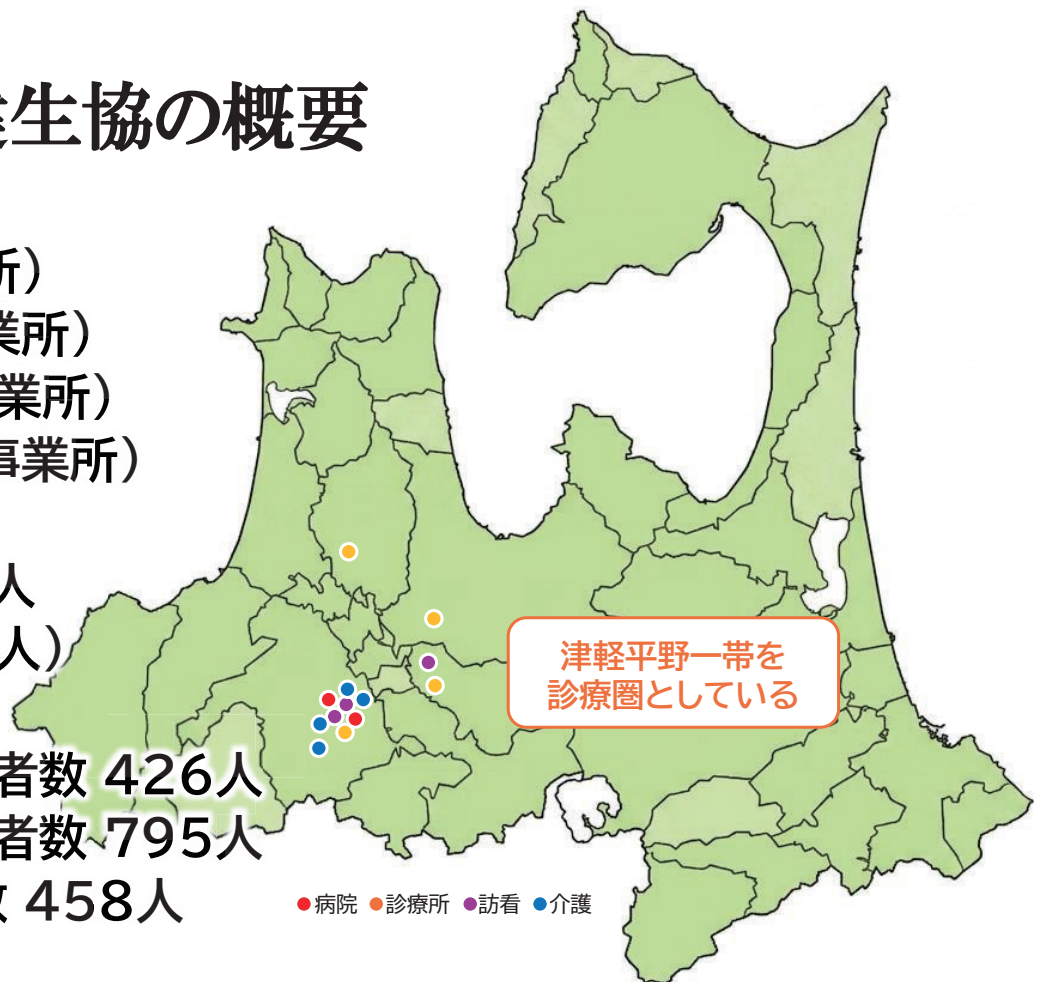


津軽保健生協の概要

病院(2事業所)
診療所(4事業所)
訪看ST(3事業所)
介護施設(5事業所)

職員 1,003人
(内 医師 63人)

1日当在院患者数 426人
1日当外来患者数 795人
在宅管理件数 458人



事業の中核となる健生病院の概要

- | | |
|-------------|--------|
| ○総合診療科 | ○救急科 |
| ○内科 | ○集中治療科 |
| ○外科 | ○小児科 |
| ○整形外科 | ○精神科 |
| ○産婦人科 | ○緩和ケア科 |
| ○リハビリテーション科 | |



所在地:青森県弘前市 《津軽地域医療圏:27万5千人》

病床数 282床

- 急性期一般病棟 172床
- HCU 8床
- 地域包括医療病棟 28床
- 回復期リハビリ病棟 60床
- 緩和ケア病棟 14床

- 1日当外来患者数 700人
- 1日当在院患者数 274人
- 救急車搬入数(年間) 3,300件
- 平均在院日数 13.1日
- 在宅管理件数 256人
- 手術件数(年間) 1,000件
- 分娩数(年間) 170件

地域医療構想がもたらしたもの

診療報酬抑制の結果

このままでは
ある日突然、**病院がなくなります**

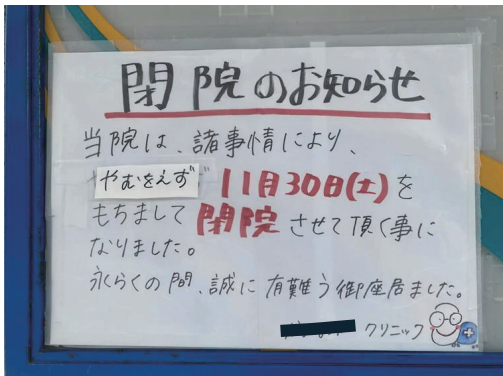
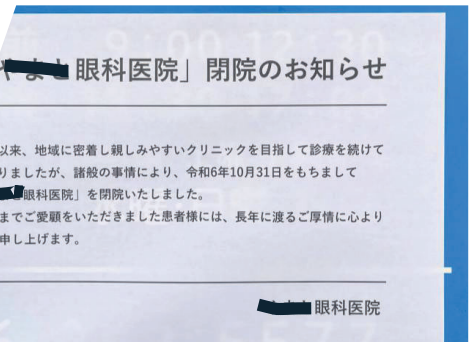
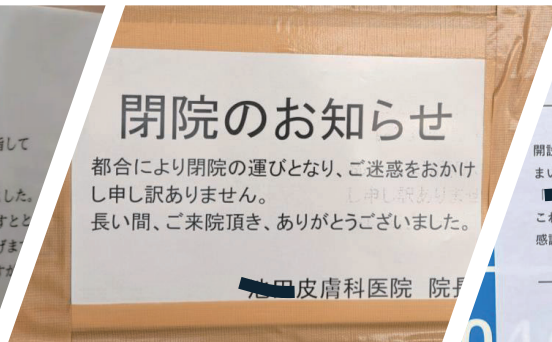
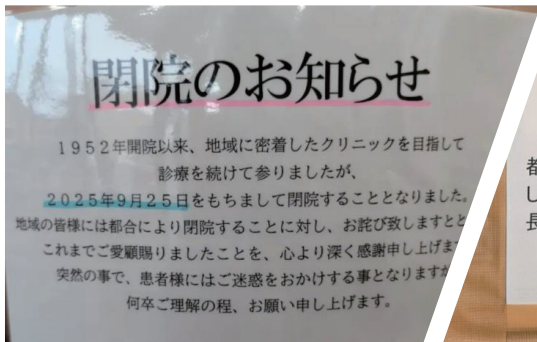
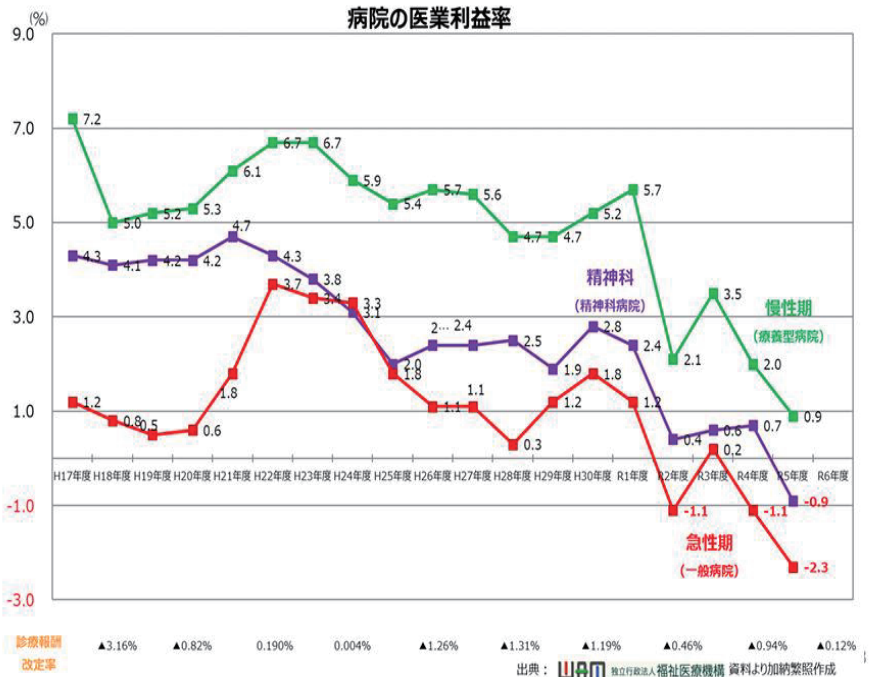


長期に及ぶ**診療報酬の抑制**により全国の**医療機関が経営悪化**による存続の危機に。全国6病院団体は異例の記者会見を行い窮状を訴えた。

2025年度
全国の医療機関倒産件数

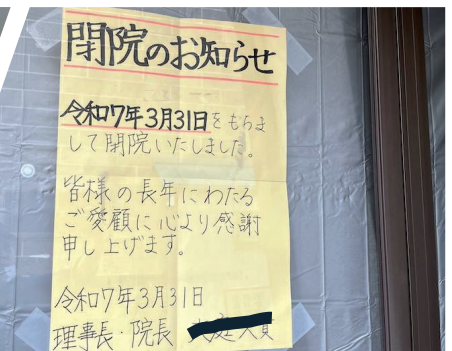
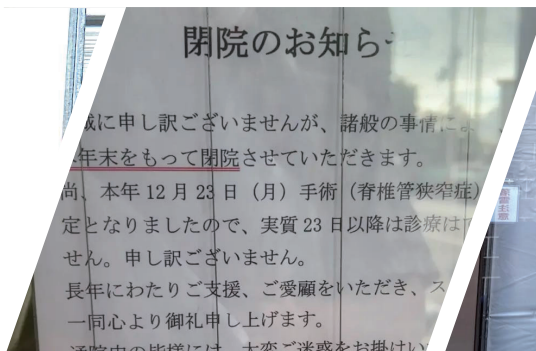
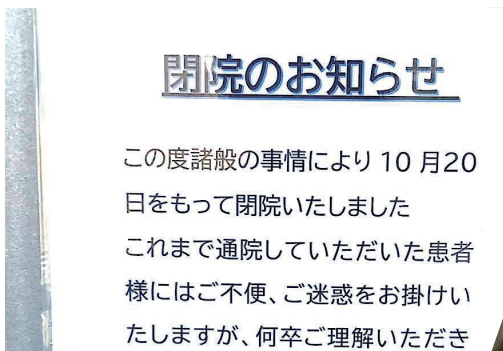
倒産66件

2024年度は倒産64件

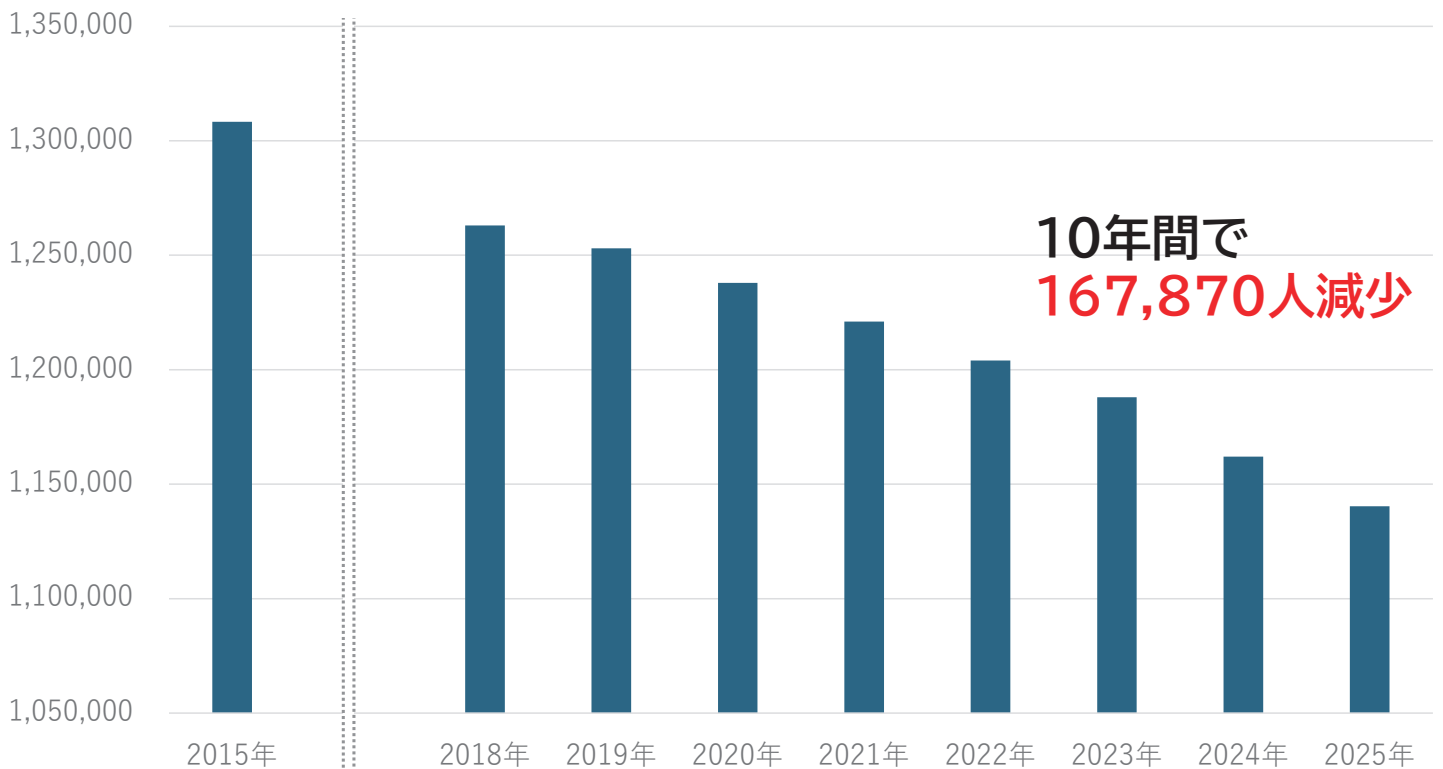


全国では
**毎日2つの医療機関が
閉鎖している**

2025年は、**廃業823件**

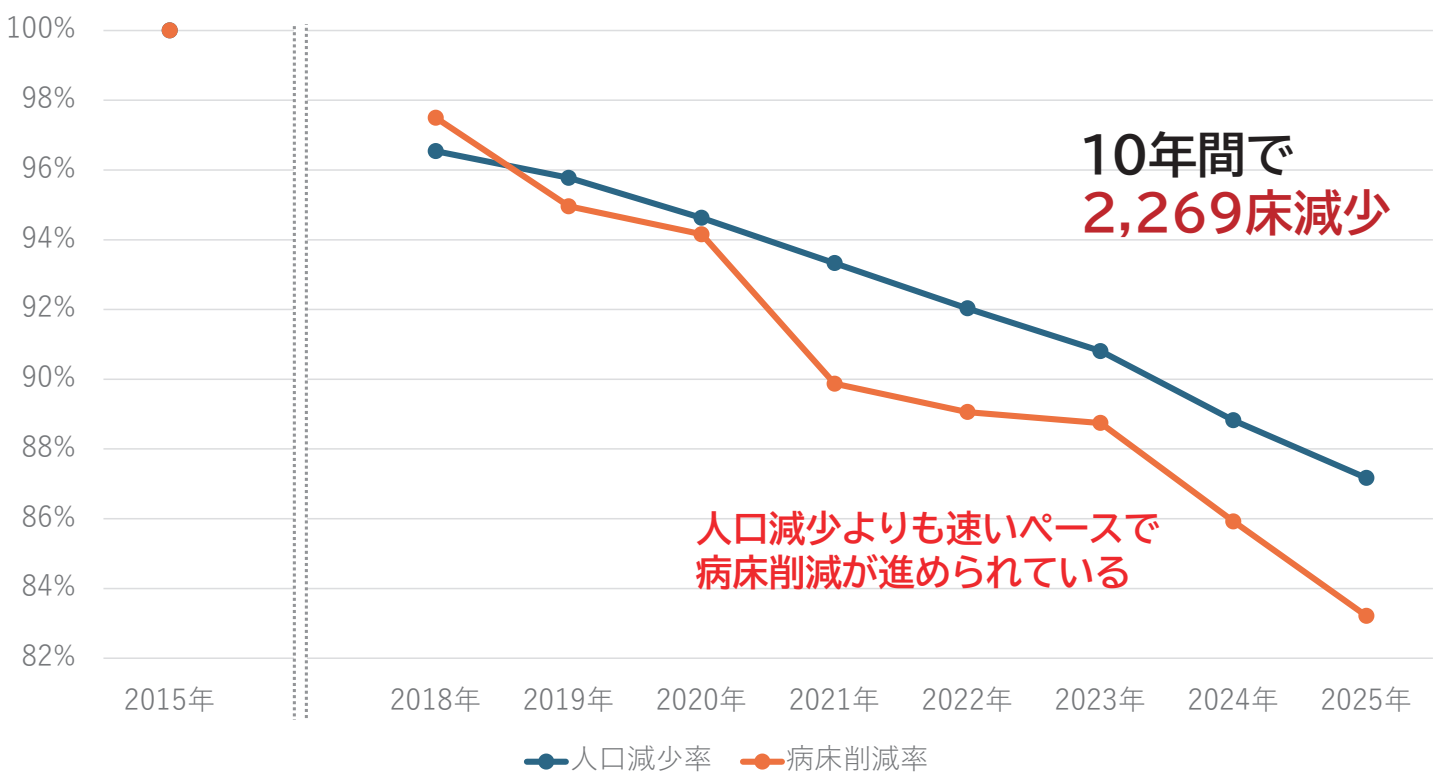


青森県の人口推移



地域医療構想がもたらしたもの

青森県の人口減少率と病床削減率(2015基準)



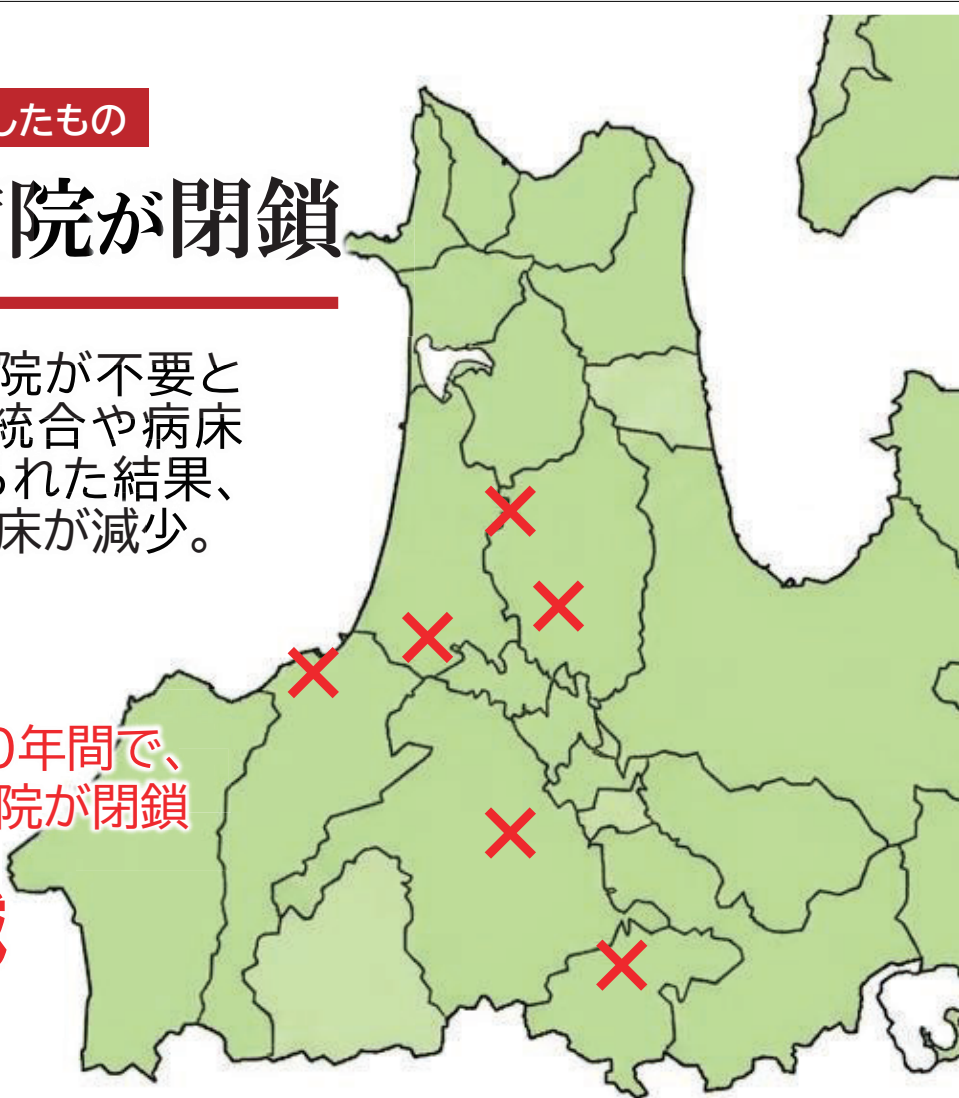
地域医療構想がもたらしたもの

津軽は6病院が閉鎖

県内では10の病院が不要と公表され病院の統合や病床削減が推し進められた結果、10年間で2,269床が減少。

2015年からの10年間で、津軽地域では6病院が閉鎖

663床減



地域医療構想がもたらしたもの

往復4時間の通院

北津軽郡域では医療アクセスが極端に低下し、受診のためにバスや車で往復4時間以上かけることも珍しくない。

**医療難民は
増えている**

通院困難患者増加のため、法人としてバスを運行するもまったく採算が合わない

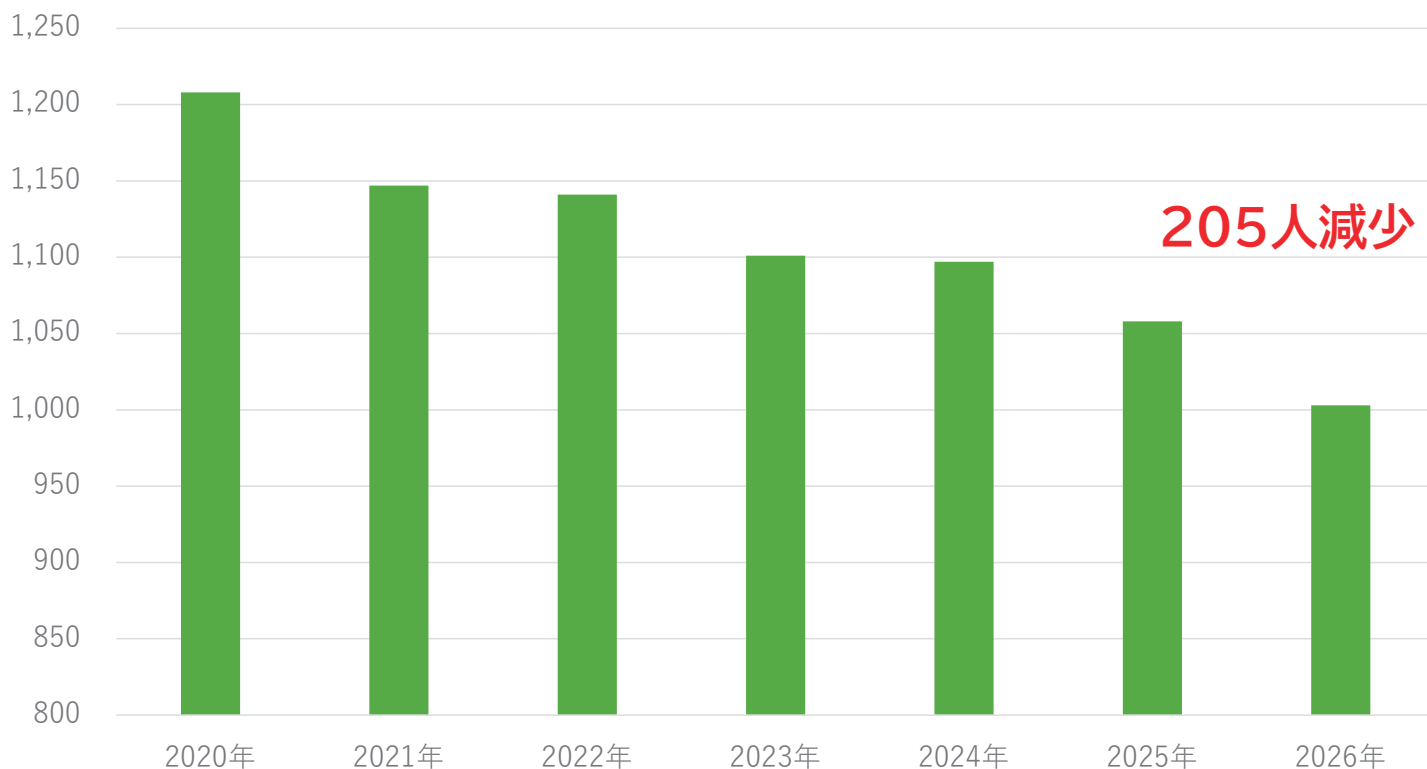


75km
往復4時間

● 健生病院

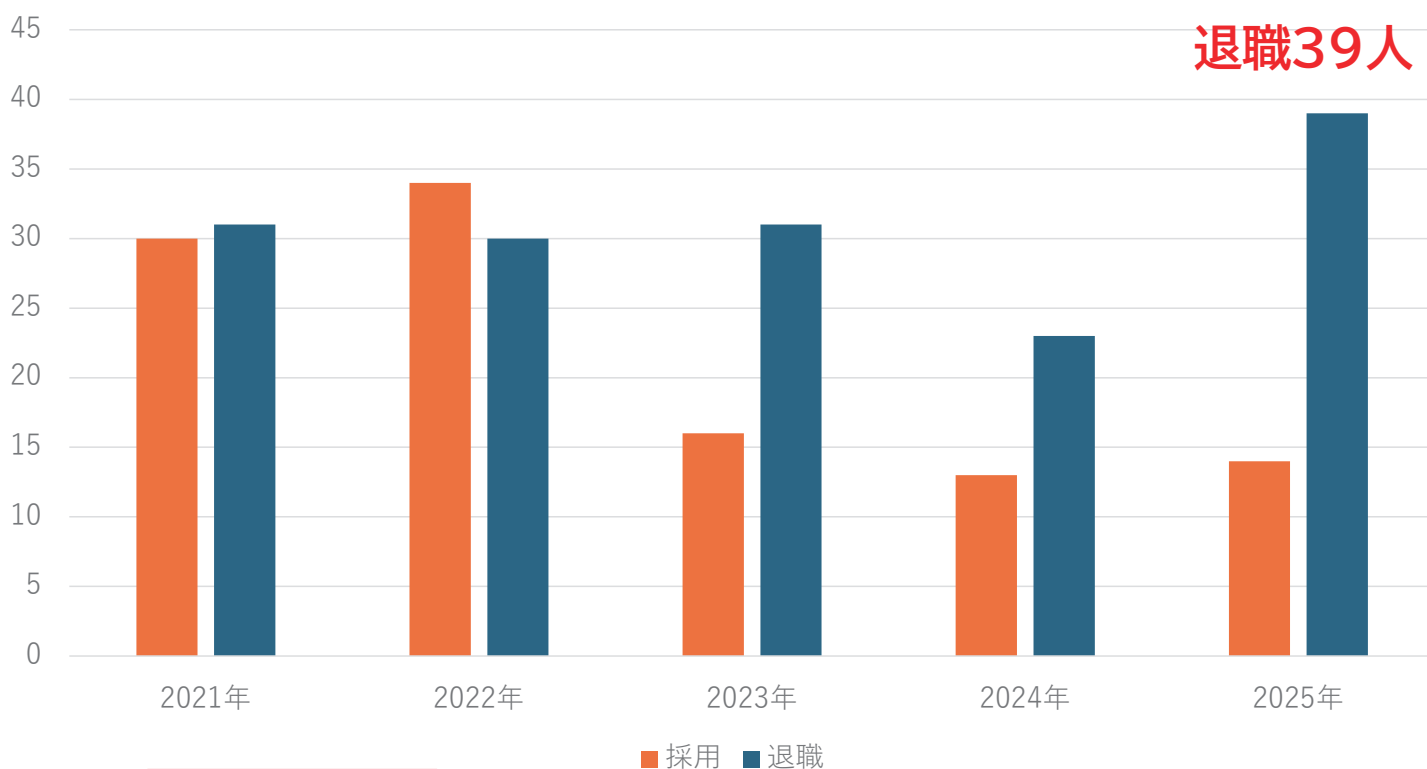
人口減少の影響

当法人の職員数



人口減少の影響

看護師の採用と退職



増加している
退職理由

→ パートナーが首都圏で働くため

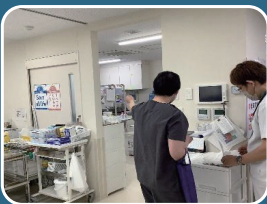
『業務の効率化』が最優先課題

業務改善プロジェクト

時間外業務を**50%**減少目標



改善設計 業務調査(2024/4/10~11)



<現場ラウンド>

- ・現場でおきている事実を見極める
- ・病棟内での動きをチェックする



<現場改善のポイントをつかむ観察>

- ・表面ではわからない要改善点を見つける
- ・多職種も含めた職員からの聞き取り（ヒアリング）



<現状把握と問題把握>

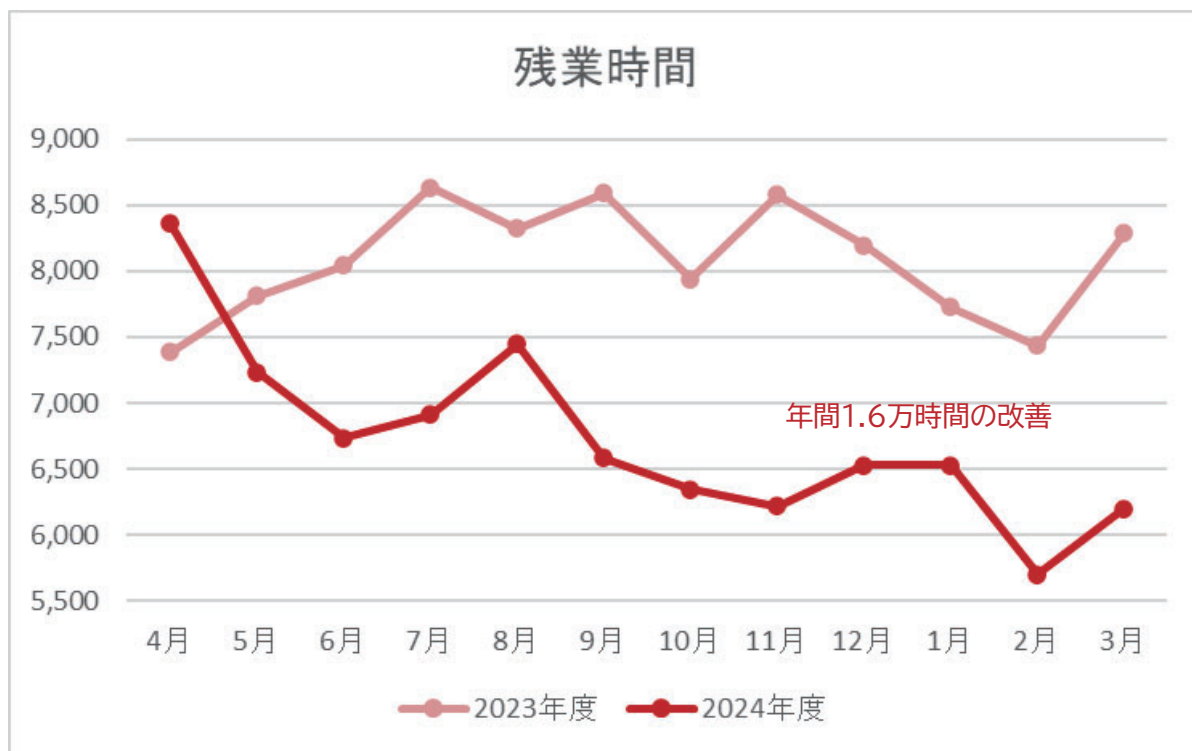
- ・今の現場環境を理解する
- ・現場の確認と現場の視点

【参加者】

院長・事務局長
病棟主任 看護長
看護長室・医療安全室



業務改善プロジェクトの成果



- 情報収集シートの活用で送り時間を短縮したことや、記録入力テンプレートや定型文の活用で年間16,180時間の業務時間削減。

業務改善PJは進化している

■「医療Dxプロジェクト」で業務量3割削減

2026年度は、成果を上げた職場のノウハウを全職場で実践することに加え、医療DXチームを立上げ業務負担軽減につながるシステムの導入を進めている。

■ 電子サイン

■ 見守りカメラ

■ インカム

■ カルテの音声入力

■「無駄をなくすプロジェクト」

職員が無駄だと思っていることや業務改善できそうだという事柄をみんなのアイデアを共有して、進捗をみんなで管理することで、より良い働き方を目指しながら経費削減を進めていく。



子育てと仕事の両立支援

- ・産休・育休中の職員を対象に、復帰への不安解消や相談の場として「**子育て支援カフェ**」を開始
- ・回を重ねるごとに参加者が増え、現在では地域のお母さんの参加
- ・育児を支援する制度改定も実施。**子育てと仕事の両立**を強力にサポート

第12回
子育て支援カフェ
大好評につき2回目の開催
バランスボールレッスン
～産後ボディメンテナンス～

一般社団法人体力メンテナンス協会
バランスボールインストラクター
産後ケアアンバサダー
吹田沙也加

2回目開催の今回は
産後ボディメンテナンスのお話も交えながら
一緒に楽しく弾んでみませんか？

6月13日(土) 10:00～11:00
生協会館2階(COOPあおもり和徳店隣)

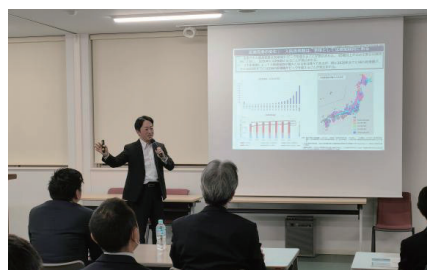
動きやすい服装でお越しください
参加申し込みはQRコードから
申し込み締め切り: 6月10日

連絡先: 生協本部 寺島
0172-33-7515

銀行と医療業・地域産業を活性化させる

銀行の医療機関への融資総額は莫大で“病院がつぶれたら銀行がつぶれる”という危機感があった。

その結果、銀行審査部の初企画として「病院経営セミナー」開催が決まった。当方病院を会場に、県の健康福祉部長や県看護協会会長を招き、地域の7病院が一堂に会して経営的側面から病院継続の議論を行った。



青森県ヘルスケア経営戦略セミナー

主催 株式会社青森みちのく銀行・株式会社日本経営
後援 青森県
公益財団法人青森県看護協会

事前申込制
参加無料

2026 1 / 22 木

17:30 - 20:00
会場 健生病院

青森県の医療の未来を

ともに考えるとともに創っていく

in 弘前

第一部 基調講演

持続可能な経営戦略を考える

- 01 危機に瀕する病院経営
- 02 地域医療の転換期
- 03 今後の地域における協議と求められる機能

株式会社日本経営
コンサルタント

川端 康正



第二部 行政の取組発信

新たな地域医療構想と
ICTの活用について

- 01 医療提供体制を取り巻く環境
- 02 新たな地域医療構想とかかりつけ医機能
- 03 医療機関の情報システム刷新に係る方向性
- 04 青森県の医療におけるICTの活用

青森県
健康医療福祉部

部長 守川 義信



第三部 パネルディスカッション

職種を超えて
地域最適な経営戦略を考える

医師・経営者の視点



津軽保健生活協同組合
健生病院
病院長 竹内 一仁

看護職の視点



公益社団法人
青森県看護協会
会長 川野 恵智子

コンサルタントの視点



株式会社日本経営
コンサルタント
川端 康正

裏面 講師紹介

お申込みフォーム

日本経営のHPへリンクします。

<https://nkgr.smk-tg.jp/public/seminar/view/34355>



住民が支え合う場

旧市浦村で地域のつながりを

- ・健康をつくる場
- ・みんなが集まる場
- ・支え合い、助け合う場

(地域住民の石岡礼子さん)

地域にどんどん病院がなくなっていく中で、つながることが大切だと思います



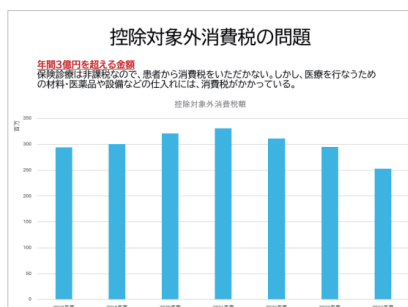
旧市浦村で、住民のネットワークを構築

- ・医療機関が減少していく中で、地域のつながりで健康を守っていく取り組みを実施。
- ・153件を訪問し、5人の中心人物とともに住民同士のネットワークを構築している。



厚労省で記者会見 「もう限界」医療現場の悲鳴を訴える

診療報酬の抑制で病院経営が苦しく「崩壊の危機」であることを厚労省で訴えた。



かつてない規模の運動で国を動かす

- ・「医療崩壊STOP」シンポを共催
- ・地域住民と力を合わせ**9,000筆超**の署名を集約



地域医療を守るための社会保障の 拡充を求める請願書

趣旨

社会保障制度は、国民の命と暮らしを守る最も重要な制度であり、憲法第 25 条に基づき、誰もが安心して医療や介護を受けられる社会の実現に不可欠です。

しかし、国が進めている社会保障費の自然増抑制政策や診療報酬の抑制により、医療・介護現場は深刻な影響を受けています。特に、地域の医療機関は物価高騰や人件費上昇、光熱費の負担増なども重なり、経営が厳しくなっています。

このままでは、地域の医療提供体制が崩壊し、住民のいのちと健康が脅かされる事態とならねません。地域医療を守り、持続可能な社会保障制度を築いていくことが求められています。

別紙の通り、国に意見書として提出していただくよう、諸願いたします。

2025 年 月 日

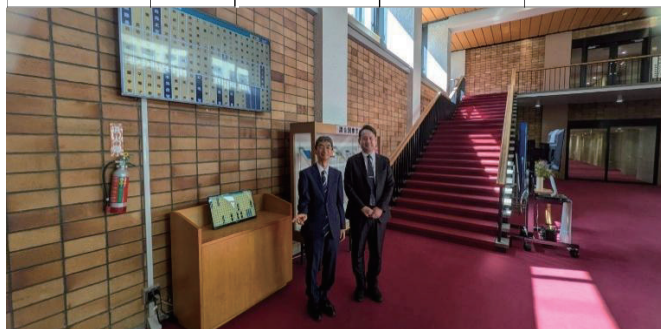
弘前市大字野田二丁目 2 番地 1

津軽保健生活協同組合 理事長 伊藤 真弘

青森県議会議員 工藤 慎康

県議会にむけて 請願行動

会派	議員数	議員		
自由民主党	29人	三橋 一三	田中 順造	阿部 広悦 他
新政未来	6人	田名部 定男	今 博	鶴賀谷 貴 他
オール青森	5人	川村 悟	斉藤 孝昭	大平 陽子 他
日本共産党	3人	安藤 晴美	吉俣 洋	田端 深雪
公明党	2人	伊吹 信一	夏坂 修	
参政党	1人	後藤 清安		
無所属	2人	鹿内 博	吉田 ゆかり	



財政支援と診療報酬増額の訴え

青森県議会 全会一致で可決

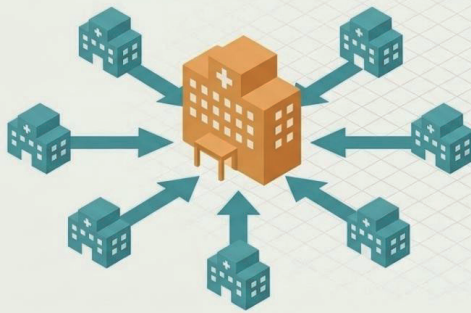
— 私たちの声が県の公式意見に —



新たな地域医療構想

「2040年問題」に対応するための医療体制

「人口20万～30万人に1つを基本とする」



集約化の必須条件

- 緊急性・頻度の高い疾患（全身麻酔手術など）を広域から集約。
- 医療従事者の分散を防ぎ、24時間体制と働き方改革を両立。
- 人口の少ない地域では「1つ確保・維持」を死守。

⚠ 拠点数が増加し症例が分散すると、医療提供体制の持続可能性が崩壊する。

地域医療構想策定ガイドライン

厚生労働省医政局

- ・ICT、遠隔モニタリングの積極活用
- ・地域の診療所のバックアップ

- ・医療と介護の連携強化
- ・マルチモビディティ（多疾病併存状態）の対応

オンライン診療 医療MaaS

- ・医療アクセス問題では避けて通れない課題。
- ・医療法の改定により、緩和や簡素化が進む

学習会で一緒になった開業医の発言
ITスキル支援と財政的支援がなければ到底不可能

新たな地域医療
構想実現には

地域で奮闘する開業医の財政支援と協力が不可欠

第55回夏季セミナー当日配布資料-31

法改正により可能になること

- ① 医療法に、患者がオンライン診療を受ける専用の施設として「オンライン診療受診施設」（以下「オン診療所」）が位置付けられ、診療所と比較して簡素な要件・手続等のもと整備が可能になる。
- ② 「オンライン診療の適切な実施に関する指針」が省令に引き上げられ、違反に対しては都道府県知事等の是正命令等が可能になる。

【オンライン診療が可能な場所の類型】

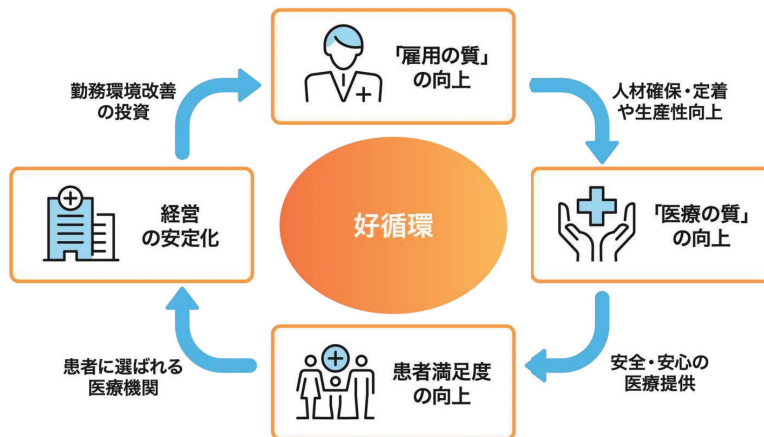
	医療提供施設	その他	患者の自宅
	病院・診療所（注1） オン診療所（注2） 巡回診療車等 Ex. 医療MaaS	Ex. 職場、学校、通所介護事業所など	（特別）養護老人ホーム ・有料老人ホーム
定義・要件等	・医師が公衆・特定多数者のための医療を行う場所（20床・519床） ・必要性を認めた場合（特例的） ・無医地区の医療確保のために必要な巡回診療車等の巡回診療の事業として行う場合	・オン診療を行う医師の勤務する医療機関等にあり、患者のオン診療受診施設を提供する施設	・（特別）養護老人ホーム ・有料老人ホーム ・医療法施行規則第1条に規定
行政手続	・開設許可の届出（10日以内）が必要 ・管理医師（医師、歯科医師等）が必要 ・開設申請書の提出、住居の受診機会が不十分と考える理由の提出 ・診療所届出不要 ・実施計画（3-6月間）の提出	・設置届出（10日以内）	なし
	一定の条件下で認められる一定の要件等の作成が必要	※車両自体をオン診療施設として届け出ること可能（県等の判断に委ねる）	受診可能かは個別判断

（注1）診療所は歯科診療所を含む。また、以降の取扱いには歯科におけるオンライン診療の場合も同じ。
（注2）都道府県等において必要と認められた場合に、特例的に開設を可能とする医師が限定的なオンライン診療のための診療所。以下同じ。



医療従事者の確保と働き方改革

- 慢性的な人材不足の中、職員の確保と定着の前提となる「処遇改善」が急務
- 「給与アップ」や「4週8休制」、「二交代夜勤」は必須課題



診療報酬による裏付けと保障は必須

2026診療報酬改定はプラス改定の恩恵はほとんどない

- ・人件費増
- ・物価対応は処方箋料と相殺

WHOが推奨する医療の在り方



その役割は病院に治療に来る患者さんの健康だけでなく、地域住民の健康づくり、さらにはそれを実現するための社会のあり方についても活動すること。

健康生活の習慣づくり Lifelong for health promotion

アメリカ型

医学・教育学的方法
ライフスタイルづくり
↓
個人のパワーを高める

健康生活の環境づくり Settings for health promotion

ヨーロッパ (WHO) 型

社会科学的方法
環境づくり
↓
坂道をゆるやかにする



【健康を押し上げる方法】

- 個人の努力 ※生活習慣を見直すなど
- **社会的・経済的・政治的な環境改善**

※差別・貧困・孤独などの解消

2026年8月2日

第55回 保団連夏季セミナー

シンポジウム

…フロアからの発言

大阪府保険医協会 地域医療対策部 部長
堺市 嶋田クリニック 院長
嶋田 一郎

私が在宅医療に関わったきっかけ

モットー： かかりつけの患者さんは、
可能な限り、最後まで診させていただく

- 神経内科として約10年間勤務：
各種神経難病（ALS、パーキンソン病等）を
はじめとする、
長期の在宅療養生活を
余儀なくされる諸疾患をフォロー
- 1996年10月 現在の嶋田クリニック開院：
（内科、神経内科を標榜）
当初から在宅医療に関わらざるを得なかった
- 在宅療養支援診療所ではありません

30年担った在宅医療

・・・振り返って感じる事

住み慣れた自宅で療養できる人が
随分と減った印象・・・

施設入所や病院での療養を選ぶケースが
一般化

＜背景として考えられること＞

- 介護力の不足(家庭での介護基盤の弱体化)
家族に迷惑をかけたくないとの本人の思い
⇒「しかたなく」施設・病院を選ぶ実情
- 介護保険サービスがますます使えなくなっている
現状
 - ・・・介護スタッフ不足
 - 介護保険サービスを受けにくくする政策

30年担った在宅医療

・・・振り返って感じる事

在宅医療を担う医療機関として・・・

在宅療養支援診療所が中心のしくみ

従来の「かかりつけ医」に通院できなくなったら、
在宅医療を中心的に担う医療機関へとバトンタッチ

施設への入所となれば、

施設を担当する医師が医療を担当

従来の「かかりつけ医」が関わることを
施設の方から拒まれる現状

長年寄り添ってきた「かかりつけ医」が

最後まで関わりづらい状況に・・・

「かかりつけ医」の果たすべき役割

- 全般的・長期的な関わり
- 生活全般や家族ぐるみの関わり
- 開業している地域の一員としての意識
- 地域の医療・介護・福祉関係者と連携することにより、医師一人では挙げられない成果を実現しうる

“ワンチーム”で一つの目標に向かって協力し合う関係性を症例ごとに積み重ねてゆく

高齢者の療養生活の現状・・・

「好きに生きて好きに死ぬ」という
希望がかなえられ難い現状

- “ACP”と言うけれど、
本音を出しづらい現状
- 本人や家族のことを把握している
「かかりつけ医」が、本音を引き出し
やすいのではないか

「かかりつけ医」が
そのまま在宅医療を担っていくことが
理想的

「かかりつけ医」が 在宅医療を担いやすくするためには？ (私論)

- 24時間対応できる訪問看護ステーションとの連携強化
 - ・・・ それで24時間対応をカバー出来る
ことに対する診療報酬上の手当を！！
- 総合点数ではなく、訪問毎の単価を上げる
 - ・・・ たとえ1件の訪問でも、
かかる手間はとても大きい
- 在宅療養支援診療所の負担軽減
 - ・・・ 診療報酬改定のたびに強まる負担